



「野村日本ブランド株投資（通貨選択型）」  
「毎月分配型」

## 分配金のお知らせ

平素より「野村日本ブランド株投資（通貨選択型）」「毎月分配型」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
2019年11月22日の決算において、日本株式市場や為替の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、「ブラジルリアルコース」の分配金を70円から40円に、「トルコリラコース」の分配金を50円から40円に、「資源国通貨コース」の分配金を60円から40円に引き下げることといたしました。それ以外のコースにつきましては、前回決算の分配金から変更ありません。

### ■ 分配金（1万口当たり、課税前）

ファンド	分配金額	分配金額		基準価額 (決算日)	基準価額 (分配金再投資)	
		(前回決算)	分配金額 設定来累計		(決算日)	(前回決算)
円コース (毎月分配型)	<b>10円</b>	(10円)	<b>1,735円</b>	19,838円	22,816円	(21,995円)
豪ドルコース (毎月分配型)	<b>60円</b>	(60円)	<b>9,270円</b>	12,929円	26,735円	(26,015円)
ブラジルリアルコース (毎月分配型)	<b>40円</b>	(70円)	<b>11,930円</b>	6,115円	24,484円	(24,122円)
南アフリカランドコース (毎月分配型)	<b>50円</b>	(50円)	<b>7,580円</b>	11,145円	23,685円	(22,672円)
トルコリラコース (毎月分配型)	<b>40円</b>	(50円)	<b>8,070円</b>	6,367円	17,509円	(16,364円)
資源国通貨コース (毎月分配型)	<b>40円</b>	(60円)	<b>6,340円</b>	9,427円	18,503円	(17,960円)
アジア通貨コース (毎月分配型)	<b>50円</b>	(50円)	<b>5,300円</b>	17,014円	26,475円	(25,502円)
米ドルコース (毎月分配型)	<b>10円</b>	(10円)	<b>700円</b>	14,345円	15,176円	(14,613円)
メキシコペソコース (毎月分配型)	<b>25円</b>	(25円)	<b>1,750円</b>	11,125円	13,278円	(12,928円)

前回決算：2019年10月23日

設定日：各コース（次の4コースを除く）は2009年4月23日、「資源国通貨コース」「アジア通貨コース」は2011年1月17日、「米ドルコース」「メキシコペソコース」は2014年1月14日

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

**上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。**

**分配金は、投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。**

## 「ブラジルリアルコース」の分配金引き下げの背景

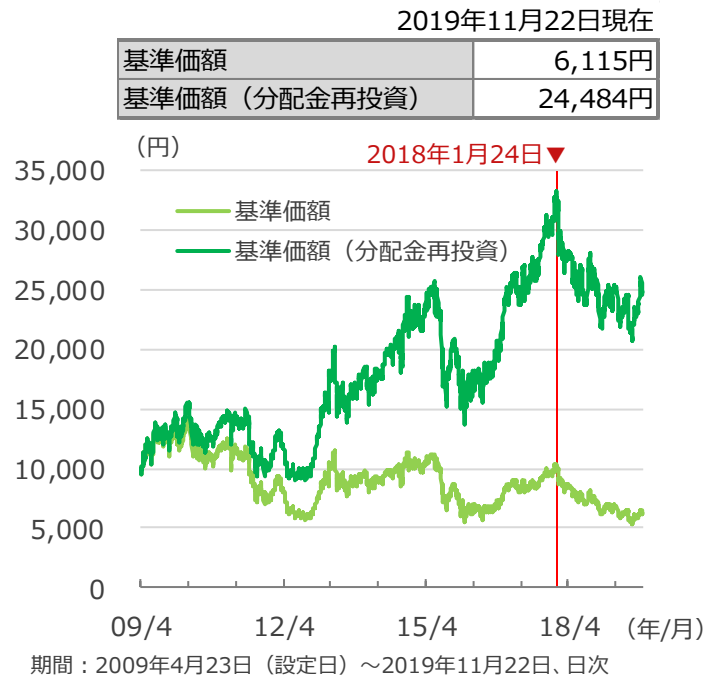
2019年11月22日現在、「ブラジルリアルコース」の基準価額は6,115円、基準価額（分配金再投資）は24,484円となりました。

基準価額（分配金再投資）は、2018年1月24日に設定来最高値を記録しましたが、その後下落に転じました。米中貿易摩擦によって世界的に先行き不透明感が広がり、外国為替市場において円高が進行したこと、それに伴う日本企業の業績への懸念等を背景とした日本株式市場の低迷等が要因と考えられます。また、ブラジルリアルについては、ブラジル国内の政況不安なども下落要因となりました。このような環境下、基準価額（分配金再投資）の2018年1月24日から2019年11月22日までの騰落率は-26.3%となりました。

一方、基準価額は、2018年1月24日には10,000円台まで回復していましたが、2019年11月22日現在は6,000円台前半の水準にあり、同期間の騰落率は-40.7%となりました。

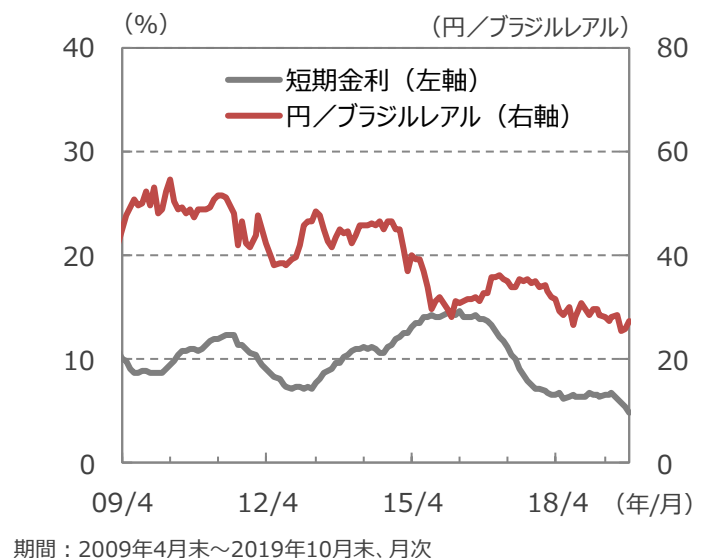
投資環境や為替の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、今回の決算において分配金を70円から40円へ引き下げることをいたしました。

### 「ブラジルリアルコース」の基準価額の推移



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

### ブラジルリアルの為替レート（対円）と短期金利の推移



ブラジルリアルの短期金利：国債1か月  
(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 「トルコリラコース」の分配金引き下げの背景

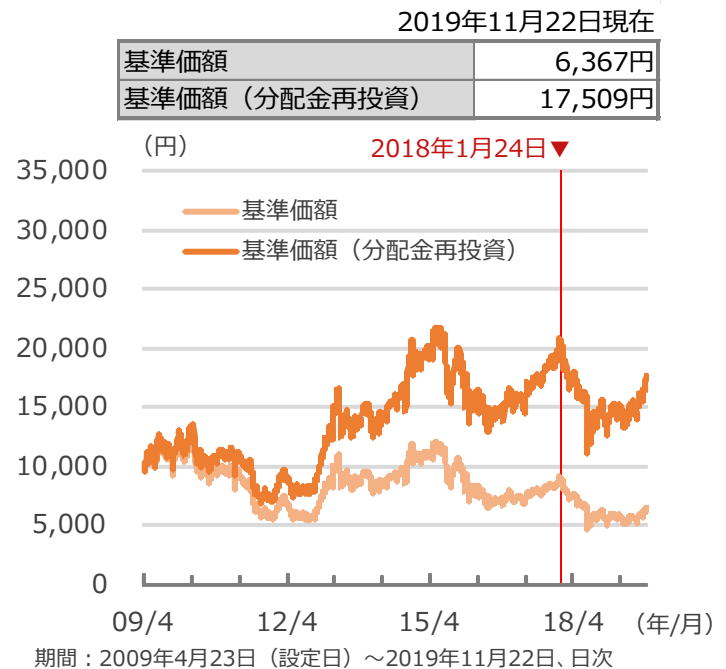
2019年11月22日現在、「トルコリラコース」の基準価額は6,367円、基準価額（分配金再投資）は17,509円となりました。

基準価額（分配金再投資）は、2018年1月24日の20,000円台の水準から下落しました。米中貿易摩擦によって世界的に先行き不透明感が広がり、外国為替市場において円高が進行したこと、それに伴う日本企業の業績への懸念等を背景とした日本株式市場の低迷等が要因と考えられます。トルコリラについては、2018年に一時的な短期金利の急騰もありましたが、足元では地政学リスクが弱まったことなどから落ち着きをみせています。このような環境下、基準価額（分配金再投資）の2018年1月24日から2019年11月22日までの騰落率は-15.6%となりました。

一方、基準価額は、2018年1月24日には9,000円台まで回復していましたが、2019年11月22日現在は6,000円台前半の水準にあり、同期間の騰落率は-29.6%となりました。

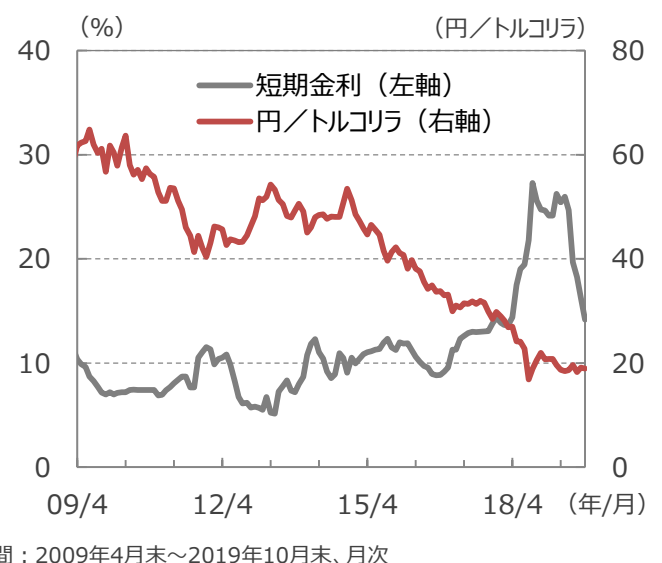
投資環境や為替の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、今回の決算において分配金を50円から40円へ引き下げることといたしました。

### 「トルコリラコース」の基準価額の推移



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

### トルコリラの為替レート（対円）と短期金利の推移



トルコリラの短期金利：インターバンク・オファー・レート1か月  
(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 「資源国通貨コース」の分配金引き下げの背景

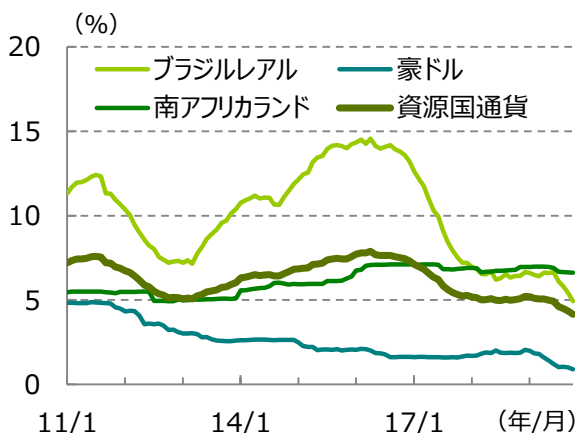
2019年11月22日現在、「資源国通貨コース」の基準価額は9,427円、基準価額（分配金再投資）は18,503円となりました。

基準価額（分配金再投資）は、2018年1月24日に設定来最高値を記録しましたが、その後下落に転じました。米中貿易摩擦によって世界的に先行き不透明感が広がり円高が進行したこと、それに伴う日本企業の業績への懸念等を背景とした日本株式市場の低迷等が要因と考えられます。このような環境下、基準価額（分配金再投資）の2018年1月24日から2019年11月22日までの騰落率は-22.4%となりました。

一方、基準価額は、2018年1月24日には13,000円台後半まで回復していましたが、2019年11月22日現在は9,000円台半ばの水準にあり、同期間の騰落率は-31.9%となりました。

投資環境や為替の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、今回の決算において分配金を60円から40円へ引き下げることをいたしました。

### 資源国通貨の短期金利の推移



期間：2011年1月末～2019年10月末、月次

「資源国通貨」の短期金利は3通貨（ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド）の短期金利の平均値です。  
 ブラジルレアルの短期金利：国債1ヵ月、豪ドルの短期金利：銀行手形1ヵ月、南アフリカランドの短期金利：ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月  
 （出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

**上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。**

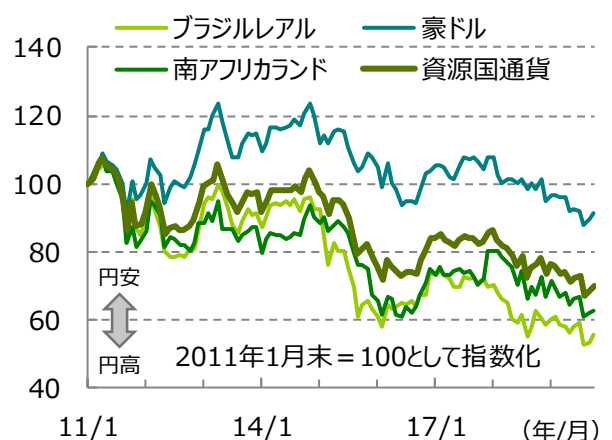
### 「資源国通貨コース」の基準価額の推移



期間：2011年1月17日（設定日）～2019年11月22日、日次

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

### 資源国通貨の為替レート（対円）の推移



期間：2011年1月末～2019年10月末、月次

「資源国通貨」は3通貨（ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド）に等分投資し、毎月末にリバランスをしたと仮定し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。

（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

## 日本株式の投資環境

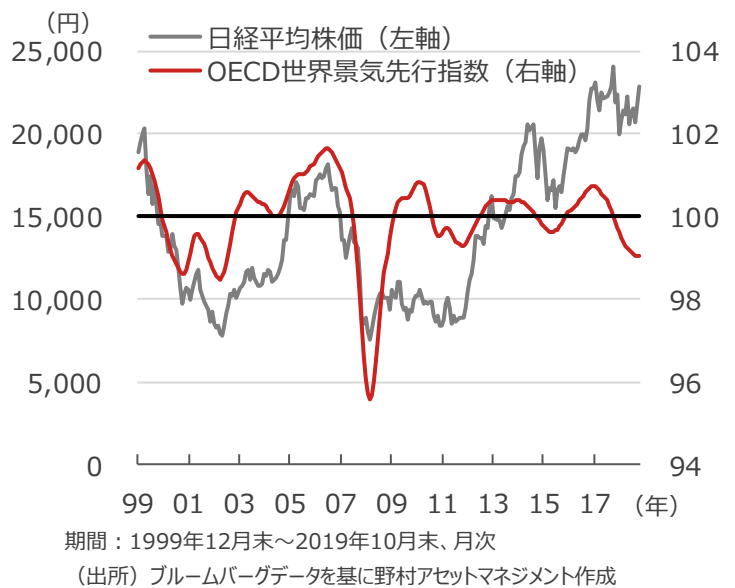
2019年の日本株式市場は、米中貿易摩擦の長期化などを要因に日本企業の業績が製造業中心に下振れ傾向となったことなどから、低調な相場が続きました。しかし、夏以降は半導体産業などに明るい材料が出始めたことで底入れし、9月以降は米中通商交渉の進展期待などやや明るいニュースが出始める中で上昇基調を強め、足元は年初来高値を更新するなど、勢いが出てきました。

世界景気の不安材料のひとつである米中貿易摩擦については、米中両国が2020年以降それぞれ重要な政治イベントを控えており、自国内での支持獲得が必要なことから、通商交渉の部分合意も視野に入ってきました。

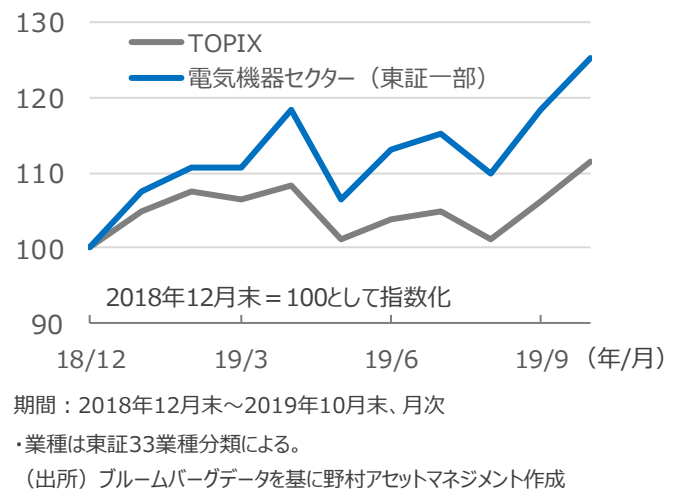
日本株式については、右上グラフのように、これまでOECD（経済協力開発機構）世界景気先行指数への連動性が高い状態が続いてきました。日本株式市場は製造業の比率が相対的に高く、製造業の主要企業については活躍の場をグローバルに拡大してきました。また、2000年以降は他産業でもグローバルに活躍する企業が年々増えてきました。こうしたことから、日本株式は世界景気の影響を強く受けるといえます。OECD世界景気先行指数は、循環的には過去のボトム水準にあり（リーマンショック時を除く）、底入れ間近の可能性が高いと見ています。足元の日本株式の上昇は、そうした回復への期待を織り込み始めていると考えています。

業種では、半導体業界を筆頭に、IoTや5G関連のハイテク業界で底入れ・反転の兆しが見え始めています。電気機器セクターは、足元で日本株式全体を上回る上昇をみせています。今般の回復局面では、成長著しいこれらの業種が景気や株価の回復をけん引していくものと期待しています。

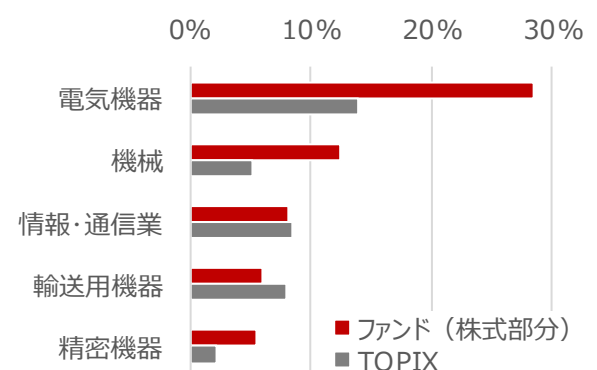
### OECD世界景気先行指数と日本株式の推移



### 日本株式と電気機器セクターの足元の推移



### （ご参考）ファンドの組入上位5業種の配分比率

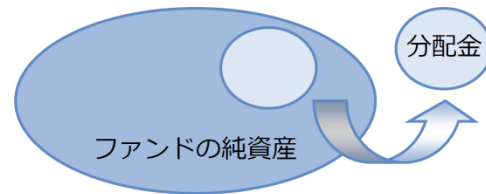


上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

## 分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



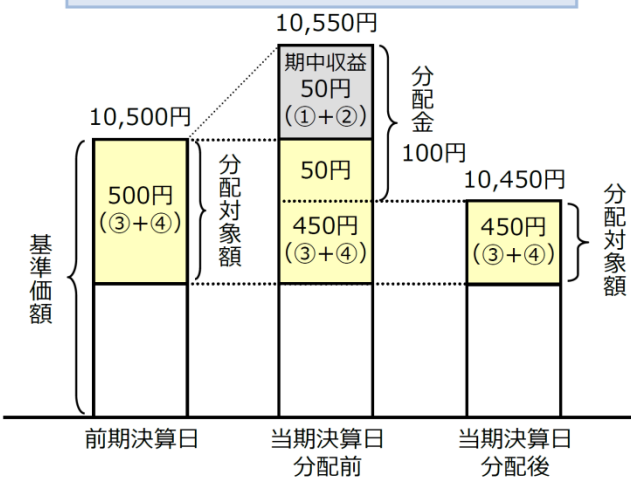
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

- ・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

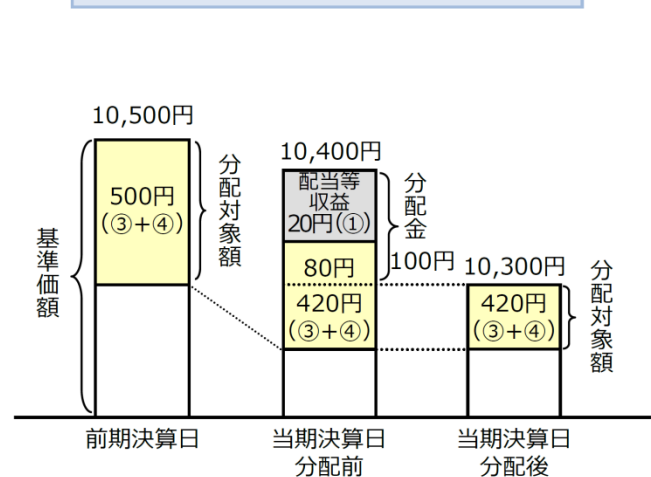
※ 分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

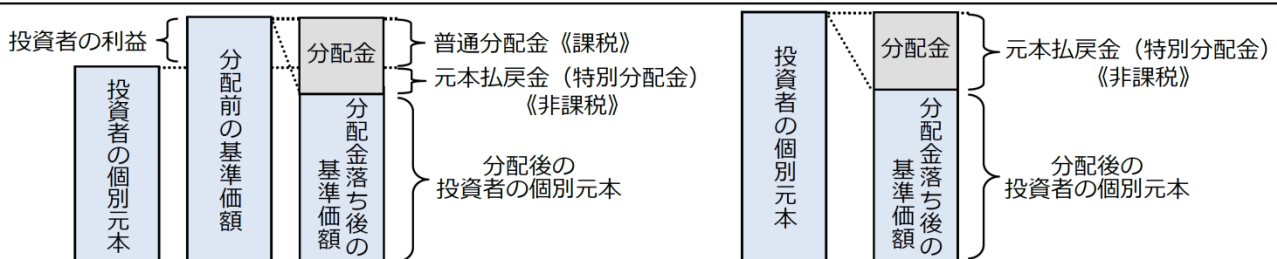


前期決算から基準価額が下落した場合



- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇ 普通分配金 …… 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇ 元本払戻金（特別分配金） …… 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※ 投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

## 「野村日本ブランド株投資（通貨選択型）」 毎月分配型/年2回決算型

### 【ファンドの特色】

- 「野村日本ブランド株\*投資（通貨選択型）」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる9つのコース（円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、資源国通貨コース、アジア通貨コース、米ドルコース、メキシコペソコース（各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。））の18本のファンドから構成されています。

※ファンド名にある「日本ブランド株」とは、グローバルで高い競争力を持つ日本企業の株式を指します。

#### ●【円コース】

中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。

【豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、資源国通貨コース、アジア通貨コース、米ドルコース、メキシコペソコース】

高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。

#### ●わが国の株式を実質的な主要投資対象\*とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

#### ●円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

・「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」には、為替取引手法の異なる9つのコースがあります。

コース名	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	円建て資産について、為替取引を行いません。
豪ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、豪ドルを買う為替取引を行いません。
ブラジルリアルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行いません。
南アフリカランドコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、南アフリカランドを買う為替取引を行いません。
トルコリラコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、トルコリラを買う為替取引を行いません。
資源国通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、資源国通貨（ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨バスケット）を買う為替取引*を行いません。
アジア通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、アジア通貨（中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨バスケット）を買う為替取引*を行いません。
米ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、米ドルを買う為替取引を行いません。
メキシコペソコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、メキシコペソを買う為替取引を行いません。

※保有する円建て資産の3分の1程度ずつ各通貨への実質的なエクスポージャーをとります。

- 通常の状況においては、「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」への投資を中心とします\*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。  
※通常の状況においては、「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

#### ●各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

- 「野村日本ブランド株投資（通貨選択型）」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

#### ●分配の方針

##### ◆毎月分配型

原則、毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益等を中心に分配を行いません。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。

また、毎年4月および10月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※コースによっては、投資信託約款上「原則として配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものであることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

##### ◆年2回決算型

原則、毎年4月および10月の22日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲で、原則として配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。

\*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### 【当資料で使用した市場指数について】

●日経平均株価（日経225）とは、日本経済新聞社が発表している株価指標で、東京証券取引所第一部上場銘柄のうち市場を代表する225銘柄を対象に算出されます。わが国の株式市場全体の動向を示す指標の1つです。日経平均株価（日経225）に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は、日経平均株価の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

●東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（以下「（株）東京証券取引所」という。）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は（株）東京証券取引所が有しています。（株）東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

## 「野村日本ブランド株投資（通貨選択型）」 毎月分配型/年2回決算型

### 【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式および債券等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該株式の発行会社および当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また各コース（円コースを除く）は、投資対象とする外国投資信託において円建て資産を対各通貨でそれぞれ為替取引を行ないますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

### 【お申込メモ】

- 信託期間 2024年4月22日まで
 

円コース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース	2009年4月23日設定
資源国通貨コース、アジア通貨コース	2011年1月17日設定
米ドルコース、メキシコペソコース	2014年1月14日設定
- 決算日および収益分配
 

【毎月分配型】年12回の決算時（原則、毎月22日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。  
【年2回決算型】年2回の決算時（原則、4月および10月の22日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。  
ご購入申込日の翌営業日の基準価額  
1万口以上1口単位（当初元本1口＝1円）  
または1万円以上1円単位  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- ご購入価額
- ご購入単位
- ご換金価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。  
\*販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
 

円コース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、資源国通貨コース、米ドルコース、メキシコペソコース	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・サンパウロの銀行（ブラジルレアルコースのみ） ・ブラジル商品先物取引所（ブラジルレアルコースのみ）
アジア通貨コース	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・ジャカルタの銀行 ○申込日当日が、中国またはインドの連休等で、ご購入、ご換金の申込みの受付を行なわないものとして委託会社が指定する日の場合
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### 【当ファンドに係る費用】

（2019年11月現在）

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年0.968%（税抜年0.88%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.668%程度（税込） （注）ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額（ご換金時、スイッチングを含む）	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

### ◆お申込みは

## 野村証券

商号：野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号  
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 /  
一般社団法人金融先物取引業協会 /  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

### ◆設定・運用は

## 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会 /  
一般社団法人日本投資顧問業協会 /  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>





**【当資料について】**

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**【お申込みに際してのご留意事項】**

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。